



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東  
 コード番号 6187 URL <http://litalico.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻 高宏 (TEL) 03 (5704) 7355  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,839	15.4	1,230	60.3	1,060	36.5	655	△5.3
2020年3月期第3四半期	10,260	12.8	767	△18.1	777	△18.7	691	11.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 655百万円(△5.5%) 2020年3月期第3四半期 693百万円(11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	37.11	36.70
2020年3月期第3四半期	39.40	38.84

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,115	4,511	49.1
2020年3月期	9,831	3,757	38.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,479百万円 2020年3月期 3,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2021年3月期において、1株当たり5円の期末配当(初配)を実施予定であります。詳細については、本日(2021年2月1日)公表いたしました「業績予想の修正、並びに配当方針の変更及び配当予想の修正(初配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,800	13.9	1,500	52.6	1,250	27.8	720	△15.1

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日(2021年2月1日)公表いたしました「業績予想の修正、並びに配当方針の変更及び配当予想の修正(初配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	17,726,000株	2020年3月期	17,597,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	244株	2020年3月期	159株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	17,650,502株	2020年3月期3Q	17,562,110株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位:千円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	2021年3月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減額	増減率
売上高	10,260,732	11,839,995	+1,579,263	+15.4%
営業利益	767,437	1,230,404	+462,967	+60.3%
経常利益	777,216	1,060,518	+283,302	+36.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	691,861	655,001	△36,859	△5.3%

(単位:千円)

セグメント別業績		2020年3月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	2021年3月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減額	増減率
LITALICO ワークス 事業	売上高	4,949,299	5,727,727	+778,428	+15.7%
	利益	1,740,678	2,141,298	+400,619	+23.0%
LITALICO ジュニア 事業	売上高	4,342,623	4,747,565	+404,941	+9.3%
	利益	913,137	828,632	△84,505	△9.3%
その他	売上高	968,809	1,364,701	+395,892	+40.9%
	利益	△378,686	△223,251	+155,435	-

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国200拠点以上で就労や学びを支援するサービスを提供しております。加えて、プログラミング等一般教育分野への展開も進めております。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォーム事業等を行っています。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しております。

当社グループは個人向けサービスとしてLITALICOワークス事業、LITALICOジュニア事業、LITALICOワンダー事業、LITALICOライフ事業の4事業を、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォーム事業としてLITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業の3事業を運営しております。

LITALICOワークス事業は働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2021年3月末には2.3%への引き上げが予定されております。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっております。しかしながら、2019年における法定雇用率達成企業の割合は48.0%と半数を割り込んでおり、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニア事業は子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達における支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。また、小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートするサービスも提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOワnder事業はテクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフ事業は自分らしい人生を歩んでいけるよう、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応じてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビ事業は、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを、またオンラインで当事者家族向けに相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビ事業は働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリア事業は障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、感染症対策として衛生管理を徹底した上で対面でのサービス提供を継続しつつ、オンラインの活用も進めました。当第3四半期連結累計期間の新規拠点開設数は、就労移行支援事業8拠点、児童発達支援事業7拠点、学習教室事業3拠点となりました。なお、セグメントごとの業績は以下の通りになります。

#### <LITALICOワークス事業>

LITALICOワークス事業については、就職者の増加により既存拠点の報酬単価が増加し、新規開設拠点の集客も順調に推移しました。また、オンライン支援も拡大したことにより、収益性が向上しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は5,727,727千円（前年同四半期比15.7%増）、セグメント利益は2,141,298千円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

#### <LITALICOジュニア事業>

LITALICOジュニア事業については、既存拠点の利用率が引き続き高い水準で推移し、新規開設拠点の集客も順調に推移しました。一方で、学習教室事業における新規問い合わせの減少および第1四半期連結会計期間に社員への感謝金の支払いなど新型コロナウイルス感染症による影響があり、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,747,565千円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は828,632千円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

## &lt;その他&gt;

プラットフォーム事業はSaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数を増やし、LITALICO発達ナビ事業については単月黒字化を達成しました。LITALICO仕事ナビ事業やLITALICOキャリア事業においても契約施設数及び採用支援サービスが拡大し、先行投資を継続しながらも赤字幅の縮小をしております。LITALICOワンダー事業については、新規問い合わせの減少など新型コロナウイルス感染症による影響はありつつも、オンラインコースの立ち上げにより生徒数が増加しています。LITALICOライフ事業については、オンラインでの契約が可能になるなど規制緩和を受けて、全国を対象にセミナーを行い、サービス提供地域を拡大するなど引き続き投資を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,364,701千円（前年同四半期比40.9%増）、セグメント利益は△223,251千円（前年同四半期比155,435千円改善）となりました。

以上の結果、売上高は11,839,995千円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益は1,230,404千円（前年同四半期比60.3%増）となりました。

経常利益は、株式会社Olive Unionへの持分法投資損失を185,624千円としていることから、1,060,518千円（前年同四半期比36.5%増）となりました。前年同四半期である2020年3月期第3四半期連結累計期間にConobie事業の譲渡益が240,600千円あったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては655,001千円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、9,115,744千円となりました。業容拡大による売掛金の増加336,420千円、システム開発等による無形固定資産の増加250,136千円、拠点開設等による有形固定資産の増加199,564千円があったものの、税金の支払や借入金の返済等により現金及び預金が1,478,097千円減少し、前連結会計年度末と比較して715,469千円減少しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,470,145千円減少し、4,603,843千円となりました。これは主に、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少782,850千円、短期借入金の減少450,000千円、人事制度変更による未払費用の減少386,457千円及び賞与引当金の増加336,595千円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して754,676千円増加し、4,511,900千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上にとまなう利益剰余金の増加655,001千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① 業績予想の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,500	百万円 1,400	百万円 1,150	百万円 600	円 33.99
今回修正予想(B)	15,800	1,500	1,250	720	40.75
増減額(B-A)	+300	+100	+100	+120	—
増減率	+1.9%	+7.1%	+8.7%	+20.0%	—
(参考) 2020年3月期実績	13,867	982	978	847	48.25

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症による一時的な影響を受けたものの、当初の予定を上回って業績が進捗しております。

売上高は既存事業がオンライン支援の本格化等により順調に推移したことに加えて、プラットフォーム事業の収益拡大が促進されたこと等により見込みを上回って推移しました。利益については、新型コロナウイルス感染症対策による経費の増加はあったものの、順調な売上進捗と営業効率改善等により、当初の予想を上回る結果となりました。

以上の状況を受けて、2021年3月期の通期連結業績予想を上方修正いたします。

## ② 配当方針の変更理由及びその内容、並びに配当予想の修正について

当社グループは、これまで将来の成長に向けた新規事業領域への投資及び健全な財務体質の強化を図るための内部留保を行うなか、配当を実施しておりませんでした。

しかしながら、新規事業領域の成長のため先行投資を進めてきたプラットフォーム事業において収益化の目途が付いてきたことから、投資を継続しつつも株主への利益還元として配当を開始することが適切であると判断し、期末配当を開始することといたしました。

今後、当社グループは、株主に対する利益還元についても重要な経営上の施策の1つとして認識し、将来の成長に向けた新規事業への投資を積極的に行うこと、健全な財務体質を維持することと同時に株主への利益還元を行うことを基本方針といたします。

上記の配当方針の変更を踏まえ、下記のとおり、当面は期末配当のみを予定とし、1株あたり5円の期末配当(初配)を実施予定であります。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	0円00銭	0円00銭
今回修正予想	—	5円00銭	5円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,682,265	1,204,168
売掛金	2,376,211	2,712,631
たな卸資産	5,984	6,568
前払費用	158,140	228,657
その他	48,669	147,147
貸倒引当金	△4,508	△4,702
流動資産合計	5,266,763	4,294,471
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,682,424	1,878,172
工具、器具及び備品	1,249,240	1,455,515
減価償却累計額	△986,508	△1,189,230
建設仮勘定	-	263
有形固定資産合計	1,945,156	2,144,721
無形固定資産		
ソフトウェア	394,333	519,228
ソフトウェア仮勘定	103,276	226,906
その他	39,480	41,091
無形固定資産合計	537,090	787,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,333,749	1,148,125
敷金及び保証金	607,570	608,925
繰延税金資産	93,752	93,752
その他	47,132	38,521
投資その他の資産合計	2,082,204	1,889,324
固定資産合計	4,564,450	4,821,272
資産合計	9,831,213	9,115,744



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	450,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,043,800	1,006,300
リース債務	9,123	8,844
未払金	320,035	196,798
未払費用	654,484	268,027
未払法人税等	330,833	244,317
預り金	191,561	196,509
賞与引当金	-	336,595
その他	41,171	65,464
流動負債合計	3,041,009	2,322,856
固定負債		
長期借入金	3,010,618	2,265,268
リース債務	22,361	15,718
固定負債合計	3,032,979	2,280,986
負債合計	6,073,989	4,603,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,817	407,432
資本剰余金	324,817	366,432
利益剰余金	3,051,358	3,706,360
自己株式	△357	△566
株主資本合計	3,741,635	4,479,658
新株予約権	15,588	32,242
純資産合計	3,757,224	4,511,900
負債純資産合計	9,831,213	9,115,744

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,260,732	11,839,995
売上原価	6,370,408	7,561,434
売上総利益	3,890,324	4,278,560
販売費及び一般管理費	3,122,887	3,048,156
営業利益	767,437	1,230,404
営業外収益		
受取利息	5,578	10
助成金収入	13,597	21,800
違約金収入	7,093	3,947
その他	7,136	1,102
営業外収益合計	33,405	26,860
営業外費用		
支払利息	5,441	9,535
為替差損	12,324	-
支払手数料	3,000	-
持分法による投資損失	-	185,624
その他	2,860	1,587
営業外費用合計	23,626	196,746
経常利益	777,216	1,060,518
特別利益		
事業譲渡益	240,600	-
新株予約権戻入益	1,455	865
特別利益合計	242,056	865
特別損失		
固定資産除却損	8,675	2,968
特別損失合計	8,675	2,968
税金等調整前四半期純利益	1,010,597	1,058,415
法人税、住民税及び事業税	318,735	403,413
法人税等合計	318,735	403,413
四半期純利益	691,861	655,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	691,861	655,001

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	691,861	655,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,287	-
その他の包括利益合計	1,287	-
四半期包括利益	693,149	655,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693,149	655,001

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社LITALICOメディア&ソリューションズは、2020年4月1日付をもって新設分割により新たに設立され当社子会社となったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,949,299	4,342,623	9,291,923	968,809	10,260,732
セグメント利益又は損失(△)	1,740,678	913,137	2,653,815	△378,686	2,275,129

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業、LITALICOライフ事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	2,653,815
「その他」の区分の損失	△378,686
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	△1,507,692
四半期連結損益計算書の営業利益	767,437

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,727,727	4,747,565	10,475,293	1,364,701	11,839,995
セグメント利益又は損失(△)	2,141,298	828,632	2,969,930	△223,251	2,746,679

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、LITALICOキャリア事業、LITALICOライフ事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	2,969,930
「その他」の区分の損失	△ 223,251
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	△ 1,516,274
四半期連結損益計算書の営業利益	1,230,404

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。